

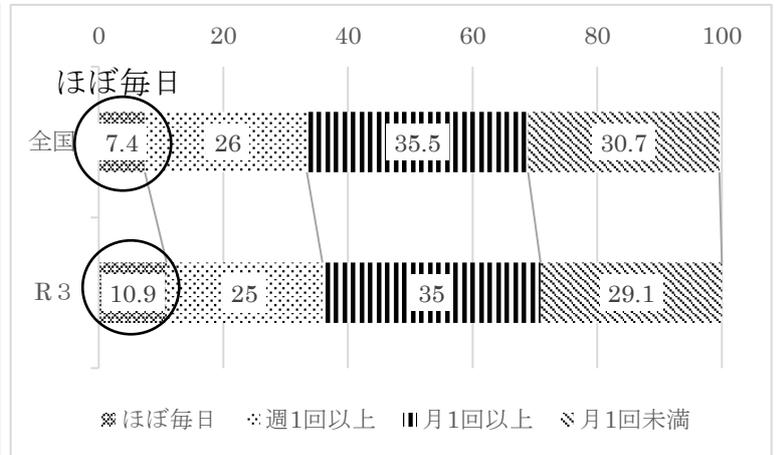
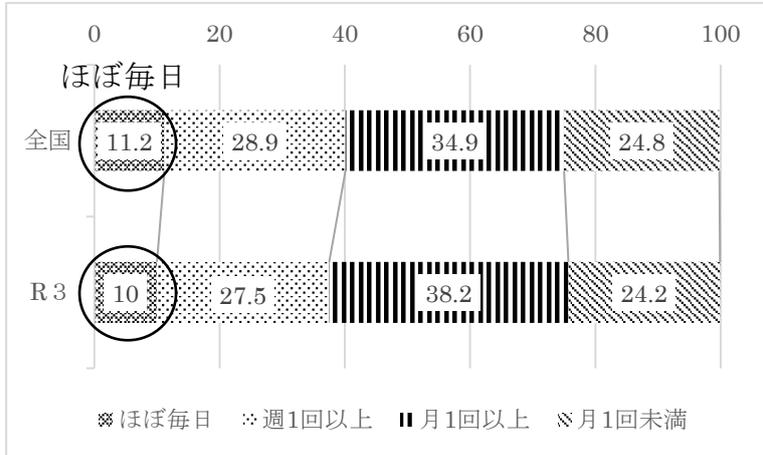
授業及び家庭における ICT 機器の使用

5年生までに（1・2年生までに）受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか【令和5年度 全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

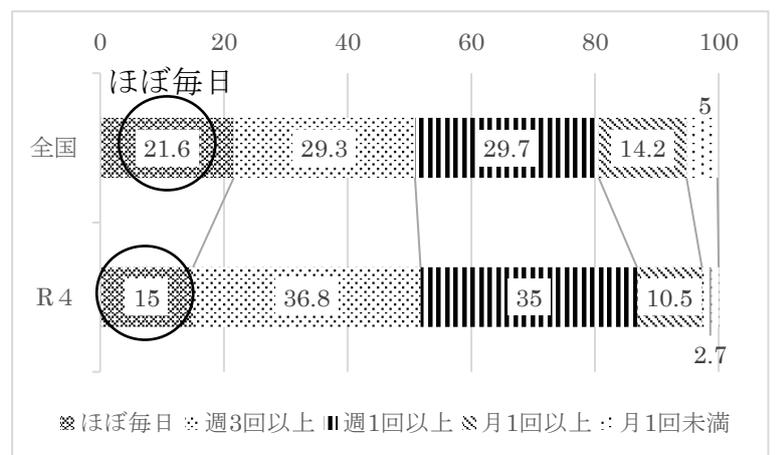
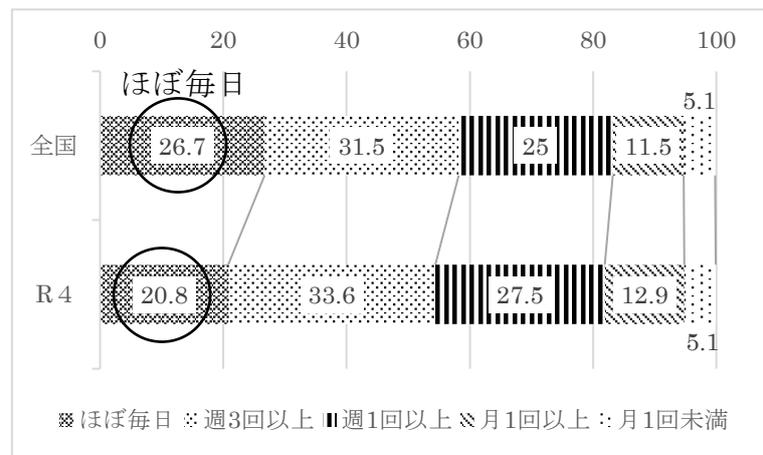
<小学校>

<中学校>

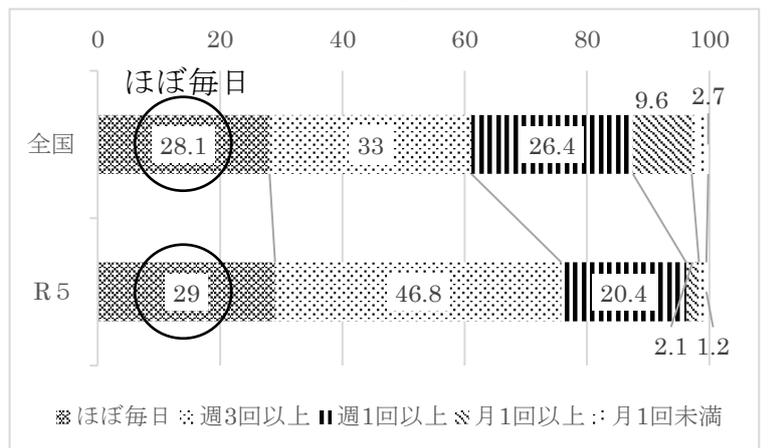
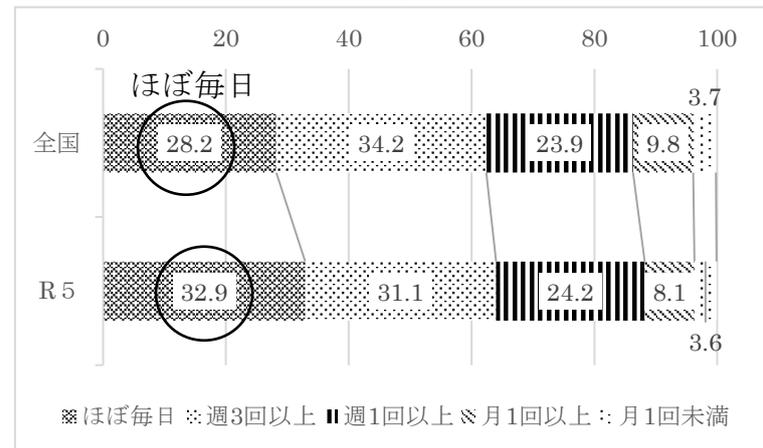
【R3】



【R4】



【R5】



裏面に続く

<授業における ICT 機器の使用について>

【成果】

授業における端末活用率について、「ほぼ毎日」に注目すると、年々上がってきており、R5 年度は小中学校ともに全国を上回った。「週3日以上」では、R5 年度の中学校は全国比+14.7 ポイントと大きく上回っている。授業における端末活用頻度は高まっている。

【課題・今後の方向性】

・端末活用の質的向上が課題であり、端末を「授業改善のためのツール」として教師が捉えることで、子どもたちの学びを充実させるための取組が可能となる。

～端末活用の質的向上の具体例～

★算数・数学科では、子どもたちの端末上で図形などを動かすことができたり、外国語科では、英語の発音練習を習熟度に応じて練習したりできること。

★紙媒体では、子どもたちの考えを全体で共有するのに時間を要していたが、端末上ではすぐに共有可能なため、子どもたちが対話する時間を長く確保し深い学びができること。

・R6 年度から小中学校ともに、全国的に英語の学習者用デジタル教科書が本格導入される。デジタル教科書の授業での使用頻度を高めつつ、より効果的な活用を推進する。

<家庭における ICT 機器の使用について>

【成果】

家庭における端末活用率は、小中ともに年々上がってきており、R5 年度は「毎日持ち帰って、毎日利用させている」割合が、全国を大きく上回った。家庭での日常的な活用(興味関心に沿った調べ活動、ドリル教材の活用、タイピング練習、連絡帳の確認 等)が進んでいる。

【課題・今後の方向性】

・端末を活用した家庭学習の内容充実が求められる。

★授業内容と関係する効果的な家庭学習(端末を活用した予習・復習、翌日の学習内容に関わる調べ学習、教材の音読の録音 等)の取組を推進する。これにより授業中に協働学習(話し合い活動等)を行う時間の増加や、教員の宿題確認の時間削減等が期待できる。

★デジタル教科書を活用した英単語の発音練習などの活用を進めることで、授業と家庭で一体的に英語の学習が可能となる。